2013年11月19日（火曜日）の読売新聞に
フィリピン支援の取り組み
の記事が紹介されました。

2013年(平成25年)11月19日(火曜日) 讀賣新聞
35 □ 栃木 1 13版

栃木

比台風被害

レイテ島にパン缶詰5000個

「アキモト」週内にも発送

那須塩原市の製パン業「パン・アキモト」は、台風被害が深刻なフィリピン・レイテ島に、災害時の備蓄用として販売している「パンの缶詰」を送る準備を進めている。賞味期限が切れる約1年前に回収して国際貢献に役立てるプロジェクトを活用し、回収済みの5000個（1万食分）を届ける。早ければ今週中に発送する。

「救缶鳥（きゅうかんちょう）プロジェクト」では、賞味期限37か月の缶詰を企業などに販売し、2年が経過した時点で新しい缶詰を納入して古い缶詰を回収している。民間の国際協力団体「日本国際飢餓対策機構」（本部・大阪府八尾市）を通じて途上国に送り、東日本大震災の発生時にも被災地で配布した。

レイテ島の被害を受け、アフリカ・ケニアにあるソマリア難民キャンプに送る予定だった1万個のうち、まずは半分をレイテ島支援に回すことを決めた。同機構のスタッフ2人がすでに現地入りし、輸送方法や受け入れ先などについて調整している。秋元義彦社長(60)は「現地からの報告を待って、一日も早く届けたいと思っており、さらに追加も検討したい」と話している。